

## 新多聞団地（神戸市垂水区）でUR初の陸上養殖がスタート ～ 12月9日 報道関係者の皆さま向け現地公開のご案内 ～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、株式会社ウイルステージ（WS）ならびに日本総合住生活株式会社（JS）の三者で共同して、団地を活用した陸上養殖の共同研究「消費地立地型の完全閉鎖循環型陸上養殖システム実用化に関する研究」（以下、「本研究」といいます。）に取り組んでおり、11月から新多聞団地（兵庫県神戸市垂水区）内の賃貸施設を活用して、バナメイエビ・カワハギ・ヒラメの養殖を開始いたしました。

本研究のポイントは、以下の3点となります。

- ① 日常的な飼育水の排水が不要な「完全閉鎖循環型の水質浄化システム」の導入
- ② 住宅地での地産地消（消費地立地）の実現に向けた「団地」の活用
- ③ 多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちへの展開の検討

つきましては、令和4年12月9日に報道関係者の皆さま向けに現地公開を実施いたしますので、ご多忙中誠に恐縮ですが、是非ともご参加くださいますようお願いいたします。詳細は次ページをご覧ください。



### お問い合わせ先

UR都市機構西日本支社

ストック事業推進部 事業推進課 電話 06-6969-9768

総務部総務課（広報担当） 電話 06-6969-9008

株式会社ウイルステージ

管理部 電話 077-561-7239

日本総合住生活株式会社大阪支社

総務部（UR事業連携担当） 電話 06-6969-1000

## 現地公開の概要

1. 日 時 令和4年12月9日（金）午後1時から午後3時
2. 場 所 新多聞団地257号棟（神戸市垂水区本多聞4丁目：新多聞センター街内）  
※JR神戸線「舞子駅」からバス15分「舞子高校前」より徒歩2分  
※神戸市営地下鉄西神・山手線「学研都市駅」からバス13分「舞子高校前」より徒歩2分
3. 内 容 飼育を開始した水槽内の稚魚の様子をご覧ください。
4. 申 込 ご参加いただける場合は、お手数ですが、12月7日（水）までに、  
「UR都市機構西日本支社 総務部総務課 広報担当(高木) Tel.06-6969-9008」  
宛てまで、お申込みいただきますようお願いいたします。  
※土日を除く、月曜から金曜日までの午前10時から午後5時まで  
※お申し込み時に受付場所のご案内をさせていただきます。  
※見学スペースに限りがあるため、当日、お待ちいただく場合があります。

## 5. 案内図



### [ご来場の際してのお願い]

- ・公共交通機関でのご来場または近隣有料駐車場のご利用をお願いします
- ・契約駐車場および商店専用駐車場への駐車はご遠慮ください

## ■団地での実施について

完全閉鎖循環方式の陸上養殖は（陸上養殖の主な方式については次ページをご参照ください）、日常的な飼育水の排水が無いことから、周辺への環境負荷が小さく立地の自由度が高いといった特徴があります。

この特徴に着目し、住宅地での地産地消（消費地立地）の実現や就業・交流の場の創出など、持続可能で活力のある地域・まちづくりへの団地の活用の可能性を探るべく、共同研究に取り組むことといたしました。

## ■共同研究について

本研究は、完全閉鎖循環型陸上養殖システムの特許を有する「株式会社ウイルステージ」、UR都市機構の関連法人で団地管理の経験が豊富な「日本総合住生活株式会社」、および「UR都市機構」の3者で実施しています。



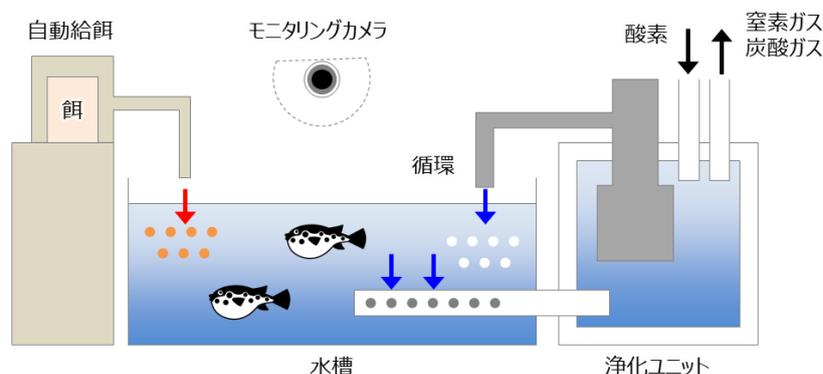
## ■本研究における完全閉鎖循環型陸上養殖システムについて

今回導入しているウイルステージ（滋賀県草津市）の「完全閉鎖循環型陸上養殖システム」は飼育水を完全リサイクルして活用する最も環境負荷のかからない理想的な方式です。

これまで、屋内の水槽飼育においては、魚や餌から発生する窒素化合物（アンモニア、亜硝酸、硝酸）の処理が大きな課題で換水による対処が必要でしたが、同社独自の水質浄化技術（特許取得済）の応用により、無換水のまま長期飼育でも問題ないレベルまで窒素化合物の分解処理が可能なシステムが構築されました。

本システムにより、場所を選ばない省エネルギーな陸上養殖が可能となり、滋賀県などの内陸地や市街地の建物でも、海水魚や淡水魚の無換水での長期飼育が実現しています。

無換水飼育による最小限のエネルギーでの水温維持、IoT技術の併用による給餌や水質管理の自動化による遠隔地からのモニタリング、ユニットの小規模化などにより、陸上養殖のさらなる可能性が期待されます。



完全閉鎖循環型陸上養殖システムのイメージ

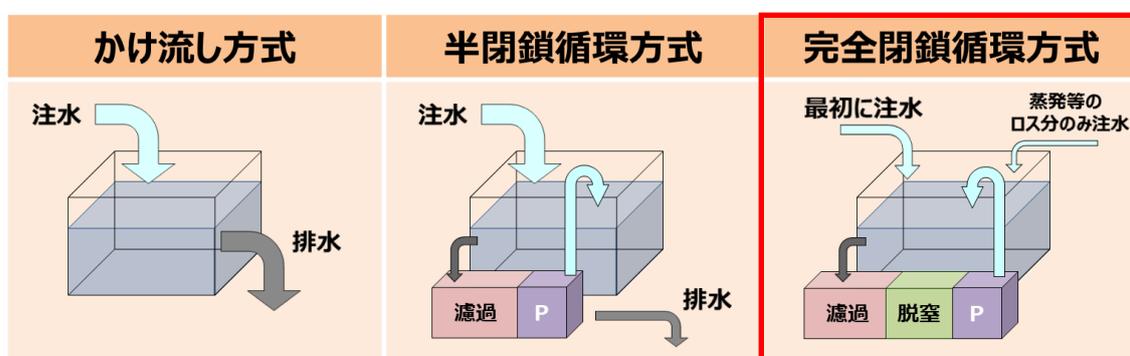
## ■陸上養殖の主な方式について

陸上養殖の主な方式としては、「かけ流し方式」「半閉鎖循環方式」「完全閉鎖循環方式」の3種類があります。

かけ流し方式は、海水や地下水等を水槽に汲み入れて、そのまま排水する方式であり、水源の確保や養殖に適した水温管理をクリアする必要があります。イニシャルコストは抑えられる一方で、大量の排水により、他の方式と比較すると環境負荷が大きくなるといわれています。

半閉鎖循環方式は、水槽内の水の一部を浄化処理してリサイクルすることで水の使用量や排水を抑え、水温管理もしやすくなりますが、殺菌や生物ろ過等を行う浄化設備に費用を要するといわれています。

完全閉鎖循環方式は、水の完全リサイクルであり、最も環境負荷のかからない方式ですが、水の浄化設備に係る高度な技術や電気代、酸素代等の費用を要するという点で、費用対効果を十分に検討する必要があるといわれています。



## ■新多聞団地（全体）の概要

所在地：神戸市垂水区本多聞四丁目ほか

棟数：91棟（低層6棟、中層84棟、高層1棟）

管理戸数：2,564戸（2022.3.末現在）

管理開始：1974（昭和49）年度

